

市営浄化槽設置申請の受付を始めました

◎問い合わせ
本庁下水道課工務係(内線537)

市では、個人負担を軽減し公衆衛生の向上に積極的
に取り組むため、市営浄化槽の整備を進めています。
本体設置工事費の約1割の個人負担で、市が浄化槽工
事を行う制度です。水洗化をご検討の人は、ぜひお申
し込みください。

■対象区域 公共下水道、農業集落排水、コミュニ
ティ・プラントの区域を除く市内全域

■浄化槽の規模・個人負担額

浄化槽の規模	個人負担額
5人槽	88,200円
7人槽	110,400円
10人槽	149,500円

※追加工事と、宅内排水設備工事は別途個人負担と
なります

■申込方法 市下水道排水設備工事指定店にご相談く
ださい。

■その他 維持管理費として毎月使用料がかかります。
使用料は、上水道の使用料と同様に、基本料金に使用
料に応じた従量料金を加算し、上水道の料金と一緒に
納付していただきます。

○浄化槽使用料の計算例

使用量	14 m ³ (2人程度)	22 m ³ (4人程度)	30 m ³ (6人程度)
使用料	4,219円	5,213円	6,336円

◆浄化槽とは

浄化槽は、風呂や台所などで使用した生活雑排水と、
トイレに流した尿などを1つの槽に集めて、微生物の
働きにより、汚水を水路などの公共水域へ放流可能な
水質に処理する施設です。

浄化槽を利用する家庭が増えると、水路に流れてい
る雑排水が減り、臭いや蚊などの害虫の発生も抑えら
れ、農業用水の水質の改善が図られます。

せいかつ百科 ごみの減量に取り組みましょう

水沢佐倉河にある胆江地区衛生センターごみ焼
却施設の老朽化が進み、施設の改修補強のため平
成32年度まで長寿命化工事を行っています。

工事に伴い、焼却炉を完全停止する休炉期間が
31年2月から3月にかけて30日程度予定されてい
ます。期間中は、市民生活に大きな支障がないよ
うにさまざまな形でごみを処理しますが、休炉に
向けてごみの減量に取り組みましょう。

●生ごみの減量●

一般的に、生ごみは約80%が水分と言われてい
ます。この水分をよく切り軽くすることでごみの
減量につながります。毎日家庭から出る生ごみの
減量のポイントを紹介します。

- ①きれいな野菜は皮をむいてから洗う
捨てるものは水に濡らさない。
- ②三角コーナーを傾ける・重しを載せる
三角コーナーを少し傾けたり、水を入れたペッ

トボトルなどで重しをすることで水切
りが早くなります。

③絞る・乾燥させる

水切りネットを使ってギュッと絞ったり、臭い
のない果物の皮などは乾燥させると軽くなります。

●生ごみ処理機器購入の補助●

生ごみ処理機器1基につき購入金額の3分の1
(千円未満切り捨て)を補助します(限度額15,000
円)。

生ごみ処理を体験したい人には、段ボールコン
ポストの無料モニターがあります。毎日生ごみを入
れてかき混ぜることで、4カ月目には堆肥が出
来上がります。生ごみの再利用で循環型社会の実
践にもつながります。

■問い合わせ＝本庁生活環境課
生活衛生係(内線215、216)、
各総合支所市民環境課



We support the

市が実現に向けて取り組むILC(国際リニア
コライダー)計画の最新情報をお届けします

希望の ひかり 第53回

国^の最新情勢
文部科学省が設置した有識
者会議内の2作業部会が、3
月1日～2日に開催されまし
た。作業部会では、29年11月
に国際研究者グループが見直
し、公表したILC計画の内
容について検証を進めていま
す。技術設計報告書(TDR)
検証作業部会(※1)におい
ては、野村総合研究所からIL
C計画に関する規制やリス
クなどの調査分析の報告書が
示され、「ILC施設の加速
器や地下空洞の計画や製作・
施工は、既存の法規制などの
適用外の部分が多くある。他
方で、社会的な影響が大きい
施設となることから、法規制
の適用外であっても自主的に
ILC施設専用の基準や規制
を作り運用することが重要と

なる」と強調されました。素
粒子原子核物理作業部会(※
2)においては、欧州合同原
子核研究所(CERN)の大
型円形加速器で新粒子の兆候
が観測されていないという実
験結果を踏まえ、「ビッグス
粒子の精密測定の実現可能性
が明確になった。ILCによ
るビッグス粒子の精密測定は、
今後の素粒子物理学が進む方
向性を示すことが期待され
る」との説明がありました。
これらの作業部会は月1回
程度で開催され、国における
検証作業も大詰めを迎えてい
ます。市では引き続き国など
の情勢を注視し、お知らせし
ます。
※1:ILCのコストや技術的実
現可能性を検証する作業部会
※2:ILCの科学的意義を検
証する作業部会

あつしゅうヒッグスくんが
ILCのからくり
パフォーマンスカー
をご紹介します！



29年度の全国少年少女チャ
レンジ創造コンテスト全国大
会に、本県代表として市少年
少女発明クラブから小野礼司
君(大会出場時岩谷堂小6年)、
東海林^{はるか}誉^{はな}君(同岩谷堂小5
年)、小野賢悟君(同江刺第一
中2年)が参加したよ！
コンテストの課題は「から
くりパフォーマンスカー」。

動力車と山車を連結し、各
チームが環境や宇宙、地元な
どPRしたいテーマを決め、
工夫を凝らしたパフォーマン
スを繰り広げただよ。

3人が作った「おらが街
I LOVE 江刺!!」と名

ILC絵画コンクール 作品展示会



市内からの全応募作品171点と、
市外の入賞作品23点、計194点が
展示されました

県南広域振興局が主催し、市な
どが共催したILC絵画コンク
ールの作品展示会が、3月6日～13
日の期間、コープAteruiの
あてりいホールで開催されました。



(右)そろいのはっぴを着て大会に臨む3人組 (左)地元江
刺とILCをPRした作品



ILC絵画コンクール
入賞作品ラッピング車
両が走ります！

一般財団法人水沢環境公社
は、創立50周年記念事業の一
環として、ILC絵画コン
クールの市内入賞作品9点を
衛生車4台と塵芥車^{じんがい}5台に
ラッピングしました。今後、
この9台が市内各地を走行し
ます。

3月10日には、作品を描い
た児童が参加してお披露目式
が開催されました。



お披露目式の様子